

広がる、アートを通じたまちづくり。

よしみは「文化創造のまち 松山」をめざし、皆が文化・芸術を楽しめる環境づくりと、アートを通じたまちづくりを推進しています。皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

松山ブンカ・ラボ、オープン



平成31年1月、アートを活用したまちづくりを推進する「松山ブンカ・ラボ」が、花園町に移転した「松山アーバンデザインセンター」内にオープンしました。

新しいセンターはビル1階を再生し、貸し出し可能な500冊の書籍やフリースペースも設けられ、市民活動の場として誰でも利用できます。休憩やトイレの利用も可能。スタッフが常駐して気軽にまちづくりに関する相談ができ、市民協働のまちづくりの拠点として様々な活動が計画されています。

今後「松山ブンカ・ラボ」では、芸術文化を通して、ひとりひとりの表現や生活を大切に作る社会づくりをめざし、3つの市民参加プログラム「スクールプログラム」、「ワークショッププログラム」、「アートプロジェクト」を展開していきます。

よしみは、誰もが文化・芸術を楽しめる環境づくりとアートを通じたまちづくりをめざし、多様な先進事例を学ぶことができました。



議会では平成26年9月定例会の一般質問で、文化芸術振興に関し、アートの拠点の創設について、アートの拠点「アーツセンターまっちゃま」を創設してはどうかと提案。

また、平成30年10月決算特別委員会の総務理財分科会では、文化振興費・文化振興事業中、松山市文化芸術振興計画について、今後の文化芸術振興を考える上での新しい拠点づくりについて質疑をしていました。



道後温泉本館にラッピングアート



松山の観光名所・道後温泉本館では同館を次代の財産として引き継ぐため、今年1月から保存修理工事が始まっています。この、今しか楽しめない保存修理工事を観光資源として発信するのが「道後REBORNプロジェクト」で、7月19日には道後温泉本館を包むラッピングアートが出現。まるでサーカスのテントを思わせる巨大なラッピングには、再生のシンボル「火の鳥」が描かれています。リニューアルされた道後温泉本館南の冠山「道後温泉 空の散歩道」からの眺めは絶景でした。

よしみは世界文化遺産である「未完の聖堂」サグラダ・ファミリアなどの例を示し、保存修理というピンチをチャンスに転じ、工事中ならではの魅力の発信をと訴えて議会質問。「見せる」修復工事、「参加する」修復工事について提案してきました。

<平成26年9月定例会での一般質問>

2. 道後温泉の活性化について

(2) 「見せる」道後温泉本館修復工事について

① 「見せる修復」については具体的にどのように考えるか。

(3) 「参加する」道後温泉本館修復工事について

① 道後温泉本館修復に当たっては、市民参加型の「参加する修復」としてはどうか。

<平成29年9月定例会での一般質問>

3. 道後温泉活性化について

(2) 道後温泉本館の工事中ならではの魅力について